

トヨタ、クモの巣風の座席 レクサス向けに

2016/10/1 21:01 | 日本経済新聞 電子版

【パリ＝横田祐介】トヨタ自動車は、1日から一般公開が始まるパリ国際自動車ショーで、クモの巣のようなデザインのネットで乗員の体を包み込み、荷重を分散するコンセプトシートを初公開した。高級車ブランド「レクサス」向けの座席として開発した。



座面と背面がクモの巣状になったレクサス向けのコンセプト座席

クモの巣ネットは可動式のシート座面と背面に採用した。長時間の運転による疲労を軽くするほか、カーブで運転をしやすくする。乗員の動きに合わせてシートが動くため、歩行時のような体の動きを実現。頭部の動きが安定するため視線のぶれが少なくなるという。

クモの巣ネットの素材にはバイオベンチャーのスパイバー（山形県鶴岡市）が開発した人工合成クモの糸繊維を使った。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.